



未来の東京





東京都は、こどもの笑顔があふれる
社会の実現を目指しています。
この度、社会の主役である子供たち
が意見を出し合う「こどもワークショ
ップ」を実施しました。

本ワークショップを通じて子供たち
から聴いた大切な意見は、今後の東
京都の施策のバージョンアップにつ
なげていきます



1

part.1

子供達の声

- 01.子供からの意見
- 02.グラフィックレコーディング
- 03.参加者アンケート





子供たちの意見やアイデア

※実際の意見を基に記載しています

「子育て」について

- **地域全体で子供(赤ちゃん)を育てる**(小6)
- 産休を増やす、子供が大きくなっても休みやすくする。お父さんも休めるように、**産休を取りやすい空気**が必要(小5)
- 親にも息抜きが必要(小6)
- 子供が増えてほしい(小6)
- **子育てにお金がかからないようにする**。子供は育てるのにお金がかかるから、産むのをあきらめちゃう人が多い(小5)

東京都の受け止め

子育てにはお金がかかったり、慣れない家事や育児に不安を感じる人もいます。

そのような悩みを解決するため、子育てにかかるお金を少なくするための支援や、お父さんも育児(育児休業の愛称)をしやすくするための取組などを進めます。

みなさんが安心して子供を産み育てることができる東京を目指していきます。

子供たちの意見やアイデア

「教育」について

- **英語教育**を高める(小6)
- 子どもや大人に関係なく、**色々な経験**をできるようにしたい(小5)
- **オンライン教育**を使ったらいい(小4)
- 小学校を大学みたいに、選択学習できるようにしたい(小4)

東京都の受け止め

日本が世界との競争に勝ち抜いていくためには、一人ひとりの能力を高めて、世界で活躍できる人を一人でも多く育てていくことが大切です。

そのために、AI、デジタルを使った学習や海外で学ぶ機会を増やす取組などを進めていきます。





子供たちの意見やアイデア

「緑」について

- ・ 緑が増えてほしい(小5)
- ・ 東京ジャングル化(小6)
- ・ 自然を増やして、きれいなまちになってほしい(小6)
- ・ 大きな公園がほしい(小5)

東京都の受け止め

緑は、私たちの遊ぶ場所、憩いの場としての役割はもちろんのこと、色々な生き物のすみかともなります。また、街から出る二酸化炭素を吸ったり、夏の暑さを和らげたりして、住みやすい環境を作ってくれます。

このように、緑がたくさんあることは、みなさんの生活にとっても良い影響を与えます。

東京都では、今ある緑をまもる取組や、公園の整備やまちづくりにより緑を育てる取組を進めていきます。

子供たちの意見やアイデア

「テクノロジー」について

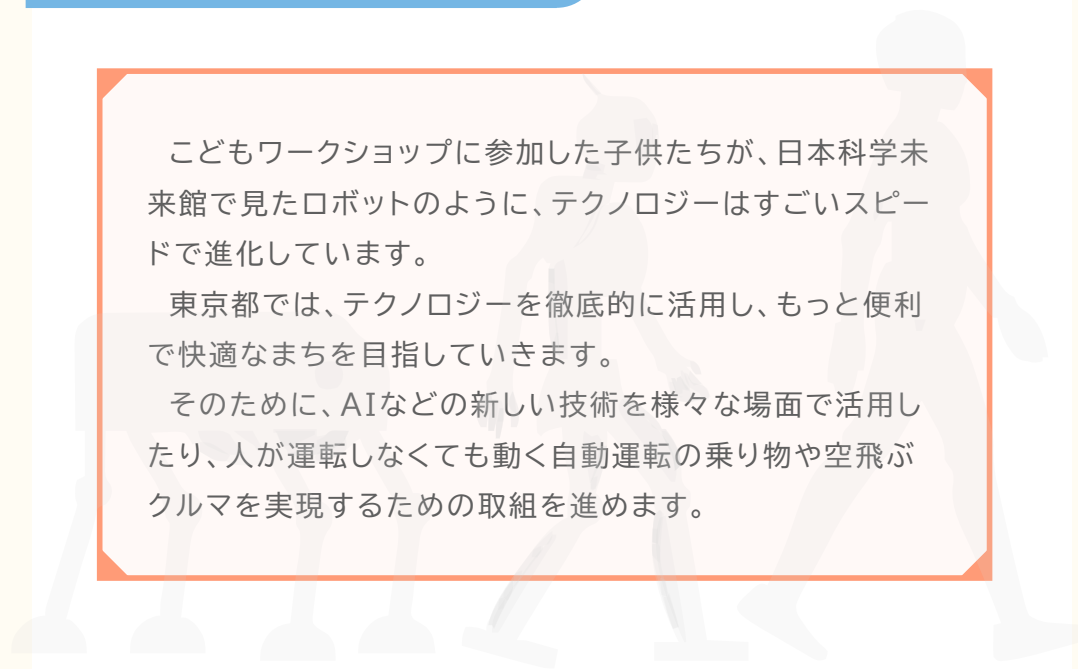
- ・ 手が離せないときに**お手伝いロボット**がいるといい(小5)
- ・ 日本科学未来館ツアーで見た**ロボットが、思っていた以上に発達してた**。ロボットが買い物しちゃうかも(小6)
- ・ メタバース(仮想空間)で、場所・障がい・性別・年齢関係なく働ける(小6)

東京都の受け止め

こどもワークショップに参加した子供たちが、日本科学未来館で見たロボットのように、テクノロジーはすごいスピードで進化しています。

東京都では、テクノロジーを徹底的に活用し、もっと便利で快適なまちを目指していきます。

そのために、AIなどの新しい技術を様々な場面で活用したり、人が運転しなくても動く自動運転の乗り物や空飛ぶクルマを実現するための取組を進めます。





子供たちの意見やアイデア

「環境・ゼロエミッション」について

- ・ バスや車が水素で動く(小4)
- ・ 東京も日本も世界も**二酸化炭素ゼロ**にする(小4)
- ・ 暑い日が多すぎる。**暑くなくなってほしい**(小4)
- ・ **太陽光エネルギー**で発電する(小4)

東京都の受け止め

今世界では「地球温暖化」が進んでいます。東京でも、突然の大雨やとても暑い日が増えるなど、生活に影響が生じています。

東京都では、この主な原因である二酸化炭素排出を2050年までに実質ゼロにする「ゼロエミッション東京」を目指しています。

そのために、太陽光発電などの再生可能エネルギーの利用を増やしたり、みんなが無駄なく上手にエネルギーを使う「省エネ」を進めていきます。

子供たちの意見やアイデア

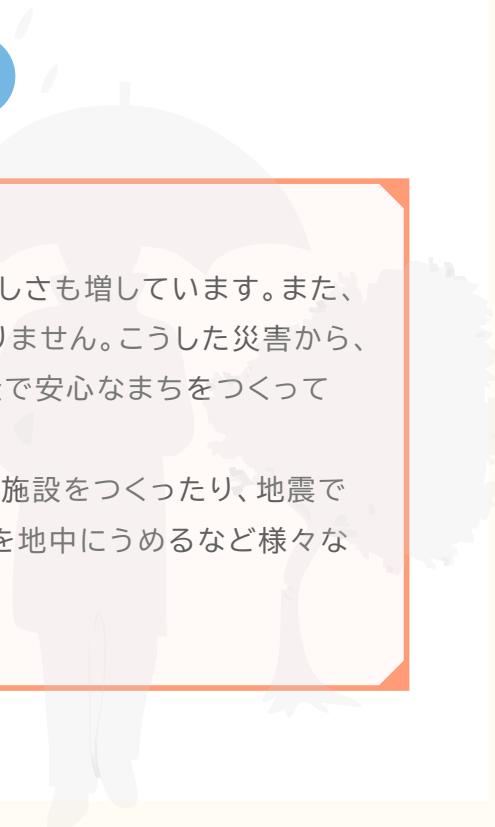
「安全・安心」について

- ・ **災害に強いまち**(小5)
- ・ 災害で死者が出ないまち(小5)
- ・ 災害を感知して(自動で)堤防が出てくる(小6)
- ・ 地震の防災グッズを提供。若者が喜ぶものだと思う(小4)

東京都の受け止め

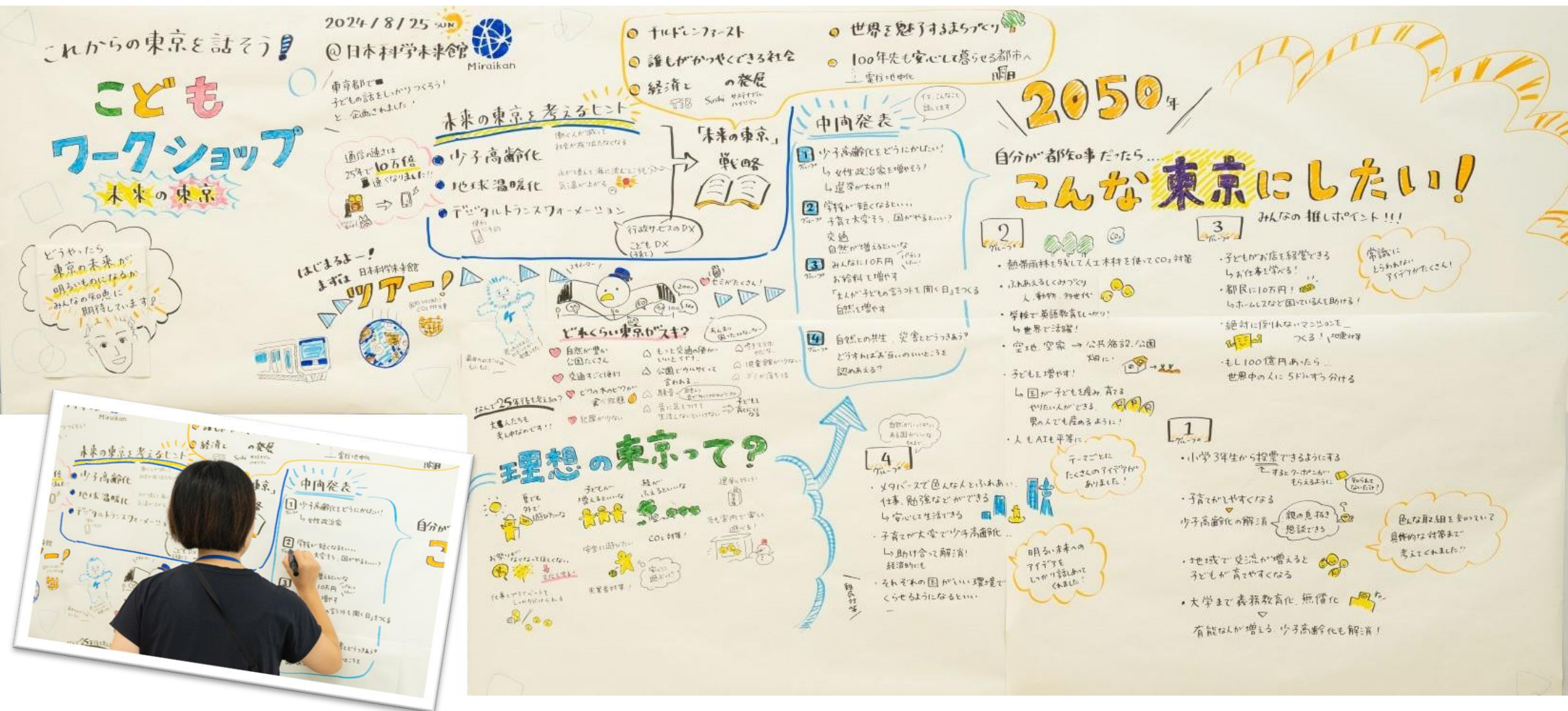
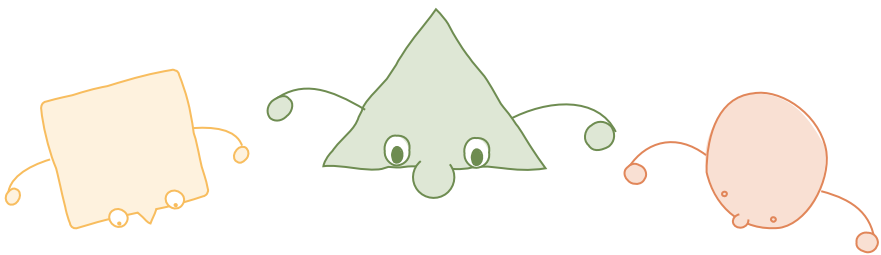
大雨の回数が多くなり、その激しさも増えています。また、地震はいつ起きてもおかしくありません。こうした災害から、みなさんの命を守り、もっと安全で安心なまちをつくっていきます。

そのために、地下に雨を貯める施設をつくったり、地震で倒れる電柱をなくすために電線を地中にうめるなど様々な取組を進めています。



グラフィックレコーディング

会議やプレゼンの内容を 絵や図形でまとめる
手法を用い、子どもたちの声をリアルタイムで
視覚化



Q

A

2024年8月20日

アンケートにご協力ください

学年

性別

男 女

1. こどもワークショップに参加してよかったと思いますか
(一つ〇でかこんでください)

1 そう思う 2 そう思わない 3 どちらでもない

理由:

2. 今日のワークショップでは言いたい意見が言えましたか
(一つ〇でかこんでください)

1 そう思う 2 そう思わない 3 どちらでもない

理由:

3. そのほか、今日のワークショップについて気づいたことや感想をおしえてください。

ありがとうございました！

1 こどもワークショップに参加してよかったと思いますか



2 今日のワークショップでは言いたい意見が言えましたか

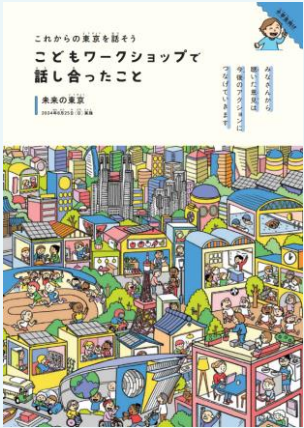


3 今日のワークショップで気づいたことや感想をおしえてください

「みんなの意見が聞けて、たしかに
そうだなと思えて、おもしろかつ
た」(小4)

「皆と話す事は苦手ですが、好きに
なりました」(小5)

「東京や国の問題について深く具体
的に考えられる機会はあまりないか
ら、この体験を大切にしたい」
(小5)



参加者にフィードバック
するための冊子も作成



2

part.2

運営方法

01.開催概要

02.タイムスケジュール

03.子供の意見を聴く工夫

04.当日の様子



テーマ	未来の東京
テーマ説明	明るい未来の東京をつくりあげていくために、「こんな東京だったら世界の人に伝えたい」「こんな東京になってるといいな」といった意見やアイデアを子供たちから聴き、施策について検討していく。
担当局	政策企画局
開催日時	2024年8月25日(日) 13:00～16:00
開催場所	日本科学未来館
参加人数	16名 小学生(4～6年生)(4グループ:各4名)
意見を聴く内容	理想の東京を考えるワーク 自分が都知事だったら、25年後の東京をこうします！宣言

02.タイムスケジュール

13:00



挨拶

メインファシリテーター・東京都関係者挨拶

13:10



日本科学未来館ツアー

館内の見学

5分休憩

13:45



オープニング

ワークショップのテーマについて説明

14:00



アイスブレイク

ツアーの感想

14:05



ワークショップ 前半

理想の東京を考えるワーク

10分休憩

14:45



ワークショップ 後半

自分が都知事だったら、25年後の東京をこうします！

15:15



全体共有

各テーブルの意見を発表

15:40



クロージング

関係者からの感想 事務連絡

15:50



撮 影

集合写真の撮影

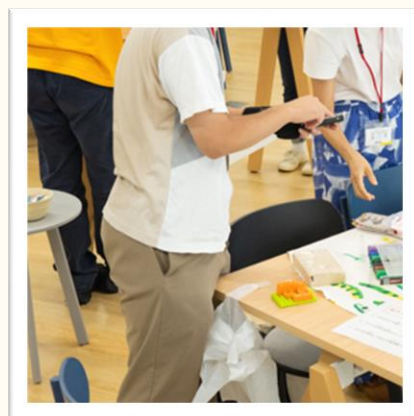
Point 01

子供が会場に到着した
時点から、ファシリテ
ーターやスタッフが積
極的に声掛けを行う



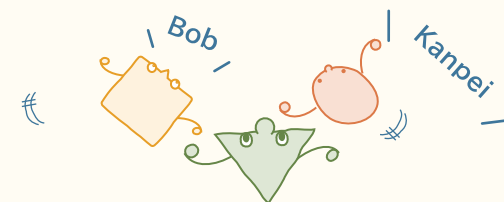
Point 02

子供が緊張しないよう、
大人はなるべくカジュ
アルな服装をする



Point 03

大人を含めて呼ばれた
い名前、ニックネーム
で呼び合う



Point 04

3つの約束事を伝える

- ① 誰がなにを話したかは、誰にも分からないようにする
- ② すべて大切な意見だから、どんなことでも話してよい
- ③ みんなの声は、必ず東京都の人たちに届ける

Point 05

終了時、テーブルファ
シリテーターに伝えれ
ば、発言の撤回ができ
ることを伝える



メイン ファシリテーター



全体のファシリテーションを担う。ワークショップの司会進行を務めつつ、適宜各グループを周り、参加者の発言を促す。
会場内で1名配置。

グループ ファシリテーター

グループ内のファシリテーションを担う。グループごとに、参加者全員の発言を促しながら、多様な意見を理解・整理していく。
グループごとに1名配置。



グラフィック レコーダー

ワークショップ内での議論を図や絵を多用しながら整理し、視覚的に内容を振り返られるよう記録する。
会場内で1名配置。



登場人物

ワークショップの
実施に関わった
大人達の紹介

進行補助者

グループ内での、議論のサポートを担う。子供が意見を言いやすくなる雰囲気づくりや、意見の記録などを行う。
グループごとに1名配置。

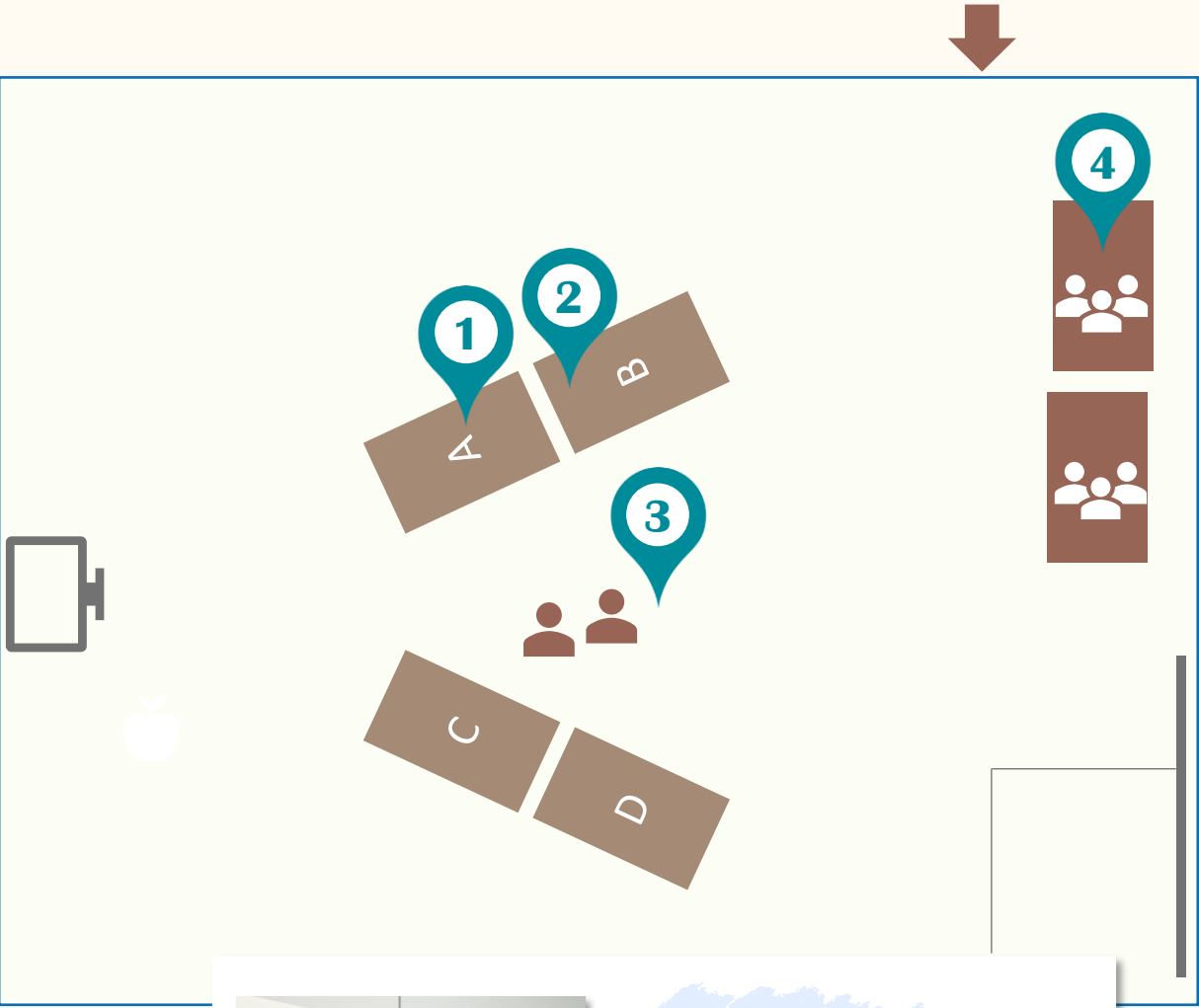


そのほかにも…



- ✓ワークショップのテーマについて説明する説明者
- ✓参加者の受付係
- ✓参加者を会場まで案内する誘導係 等

様々な関係者が本ワークショップの実施に関わりました



- 1 子供が意見を言いやすいよう少人数(3~5名) + 大人2名(ファシリテーター、補助者)で班を構成



- 2 各テーブルにファシリテーターと補助者を配置し、安心して意見表明できるようサポート



- 3 メインファシリテーターや事業担当者がテーブル間を回り、子供たちの質問に答える



- 4 大人(関係者)の人数は最小限。ワークショップ中は子供からなるべく見えないように配慮



 **Topic!**

グラフィックレコーディング

会議やプレゼンの内容を絵や図形でまとめる手法。議論の大事な点や結論をみえる化し、議論のふり返りに役立てる



